

報道機関各位

担 当 商工観光課 商業観光担当 江崎

TEL/FAX 0942-65-7024 / 0942-53-4234

E-MAIL kankou@city.chikugo.lg.jp

600 年超の歴史 水田天満宮「稚児風流」



稚児風流は、神幸祭に奉納する前に町内をねり周り、幽界の神遊びの幻像を再現した舞楽により、祭りの前触れの役を果たすとともに、天下泰平、五穀豊穡の秋を祝う民衆の喜びを表すものです。別名「ドイカンカン」とも言われ、「ハーエンヤアイ、ヤーアイ」（栄えあれの意）の掛け声をあげながら天満宮周辺を歩きます。

■名 称 水田天満宮稚児風流

■日 時 令和 7 年 10 月 25 日（土） 9:00～

■場 所 水田天満宮（筑後市大字水田）

■目 的 天下泰平・五穀豊穡を祈る。

■経 緯 室町時代に始まったと言われる伝統行事で、水田天満宮神幸祭に毎年奉納されています。昭和 31 年に県の無形民俗文化財に指定されました。

■内 容 子ども達が、華麗な装いで頭にシャグマを被り町内を練り歩きます。先頭の鼓は 4、5 歳児で 4 名、続く金が 6～8 歳児で 4 名、小太鼓が 9、10 歳児で 4 名、大太鼓が 11 歳児で 2 名、道（みち）風流（ぶりゅう）が小学校 6 年生で 2 名、と楽器で年齢や人数が決まっています。一度鼓で参加したら道風流まで抜けることはできず、鼓の希望者が多い時のみくじ引きで決めます。舞いには歩きながら打つ「道風流」、あらかじめ定められた数ヶ所の家や境内で打つ「本風流（ほんぶりゅう）」、神前で奉納される「おがみばち」があります。掛け声の「ハーエンヤアイ」は言語学的には室町時代の余韻があり、これをもって室町期が創期と言われています。

■その他 詳しくは、水田天満宮（TEL 0942-53-8625）までお尋ねください。